

令和2年度取組状況

ものづくり工学科 電子情報工学工学コース (職)准教授 (氏名)柁沢栄基

取組状況	
教育	<p>年度初めは電子黒板を、年度末はタブレットを利用してオンライン遠隔授業を実施し、板書は授業後学生へいつでも閲覧できるように公開した。通常の授業と同様に確認テストを実施した。問題をpdfファイルで配布し、直接pdfに書き込んでもらうか、印刷した物に手書きで書き込みそれをアプリでpdfに変換してもらい提出してもらった。また、学生からの質問も授業後のルーブリックで受けつけていたが、ルーブリックの評価は非常に良くまた質問も無かったが、例年より理解度が低かった印象である。</p>
研究	<p>電磁シーム圧接の非破壊強度測定法で良い解析方法が見つかり、次年度以降様々なパターン(接続する金属の組み合わせ)でも同様の手法が利用できるか、引き続き検討を行う。 リーディングスキルテストを実施し、各担任にデータの読み方のレクチャーを行った。現在、いろいろな視点で解析を行っている。今後、解析結果をまとめて報告したい。</p>
社会貢献	<p>八潮学園ものづくり授業(小学3年生向け『単元:磁石を使ったおもちゃづくり』)をリモートで初めて実施した。回線が途切れることがあったが、思ったよりもスムーズに行えた。 若手技術者支援事業(全2時間8回:9月~10月)、出前講座(株式会社コムワース全2時間4回)受講者アンケート結果より、質問に対し真摯に回答したことが良かったとあったが、具体的に何に役立つかわからなかったとあり、基礎科目だが、もう少し実際と結びつける内容を増やしたい。</p>